



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月28日

上場会社名 群栄化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4229 URL <https://www.gunei-chemical.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)有田 喜一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 執行役員コーポレート本部長 (氏名)丸山 克浩 (TEL)027-353-1810
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	14,340	17.0	1,386	42.8	1,542	44.3	1,052	46.7
2021年3月期第2四半期	12,256	△10.1	970	△9.2	1,068	△8.1	716	△10.8

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,021百万円 (△5.5%) 2021年3月期第2四半期 1,080百万円 (15.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	158.71	—
2021年3月期第2四半期	107.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	52,675	44,425	81.5
2021年3月期	51,984	43,750	81.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 42,939百万円 2021年3月期 42,204百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2022年3月期	—	50.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	40.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期第2四半期末配当金の内訳 : 普通配当40円00銭 記念配当10円00銭

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	15.1	2,800	26.3	3,000	22.4	2,000	24.4	301.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期2Q	8,998,308株	2021年3月期	8,998,308株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	2,370,092株	2021年3月期	2,369,662株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期2Q	6,628,440株	2021年3月期2Q	6,651,092株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2021年4月1日から2021年9月30日)における世界経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各国の拡大防止策の効果や米国・中国の経済活動正常化による回復傾向があったものの、7月以降は変異株による感染症再拡大の影響により引き続き厳しい状況で推移いたしました。先行きはワクチン接種の促進など感染拡大の抑制による経済活動の回復が期待されるものの、依然として不透明な状況であります。

このような状況のもと、当社グループは、市場、顧客ニーズの探索に注力し、これまで培ってきた当社グループの技術を活かした提案型営業活動の強化に努めました。またIT技術を活用した働き方改革や業務改善に取り組み更なる経営基盤の強化を図ってまいりました。

化学品事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた前年同期と比較し総じて回復基調となりました。半導体関連及び液晶関連向け樹脂は国内外の需要拡大により高水準を維持いたしました。自動車関連向け樹脂は足下では部品不足による減産の影響があるものの、建設機械及び工作機械向け樹脂と同様に昨年度後半より回復基調で推移いたしました。以上の結果、化学品事業は増収となりました。

食品事業は、新型コロナウイルス感染症と夏場の天候不順の影響があったものの一部飲料向け製品が回復したこと及び原材料価格高騰分の価格是正を行った結果、前年同期と比較して増収となりました。

不動産活用業は、ほぼ前年並みで推移いたしました。

以上の結果、当社グループの売上高は前年同期比17.0%増加の14,340百万円となりました。利益面では、原材料価格の高騰の影響を受けましたが、前年同期からの売上高の回復、また、高付加価値製品の拡販等により、営業利益は前年同期比42.8%増加の1,386百万円、経常利益は前年同期比44.3%増加の1,542百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比46.7%増加の1,052百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べ691百万円増加し、52,675百万円となりました。これは、主に売上高の増加による売上債権の増加と原材料価格の高騰による棚卸資産の増加及び有形固定資産の増加によるものです。

負債合計は前連結会計年度末と比べ16百万円増加し8,249百万円となりました。これは、確定給付企業年金への移行による退職給付に係る負債の減少や法人税等の支払による未払法人税等の減少があったものの、売上増加及び原材料価格高騰による仕入債務の増加によるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ675百万円増加し、44,425百万円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年9月14日発表の通期の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,740	7,836
受取手形及び売掛金	7,571	8,013
有価証券	4,400	3,100
商品及び製品	2,098	2,092
仕掛品	729	825
原材料及び貯蔵品	1,177	1,396
その他	222	214
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	22,938	23,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,865	22,834
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,607	△16,736
建物及び構築物(純額)	6,257	6,097
機械装置及び運搬具	32,529	32,696
減価償却累計額及び減損損失累計額	△29,439	△29,828
機械装置及び運搬具(純額)	3,090	2,868
土地	7,969	7,969
リース資産	138	789
減価償却累計額及び減損損失累計額	△54	△75
リース資産(純額)	84	714
建設仮勘定	513	676
その他	3,130	3,111
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,679	△2,684
その他(純額)	451	427
有形固定資産合計	18,366	18,753
無形固定資産		
のれん	333	259
その他	79	81
無形固定資産合計	412	340
投資その他の資産		
投資有価証券	9,018	8,881
その他	1,322	1,325
貸倒引当金	△73	△102
投資その他の資産合計	10,267	10,105
固定資産合計	29,046	29,198
資産合計	51,984	52,675

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,720	3,988
未払金	1,341	959
未払法人税等	472	303
賞与引当金	388	407
その他	136	201
流動負債合計	6,059	5,861
固定負債		
環境対策引当金	5	5
固定資産撤去引当金	22	22
退職給付に係る負債	1,508	964
その他	638	1,396
固定負債合計	2,174	2,388
負債合計	8,233	8,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	25,690	25,690
利益剰余金	15,997	16,784
自己株式	△6,227	△6,228
株主資本合計	40,461	41,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,662	1,596
為替換算調整勘定	68	85
退職給付に係る調整累計額	11	10
その他の包括利益累計額合計	1,743	1,692
非支配株主持分	1,546	1,486
純資産合計	43,750	44,425
負債純資産合計	51,984	52,675

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	12,256	14,340
売上原価	9,424	10,889
売上総利益	2,832	3,451
販売費及び一般管理費	1,861	2,065
営業利益	970	1,386
営業外収益		
受取利息	24	15
受取配当金	57	80
受取補償金	—	35
その他	18	40
営業外収益合計	100	170
営業外費用		
支払利息	0	5
為替差損	—	5
その他	1	3
営業外費用合計	2	14
経常利益	1,068	1,542
特別利益		
その他	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産処分損	4	6
貸倒引当金繰入額	—	29
特別損失合計	4	35
税金等調整前四半期純利益	1,064	1,507
法人税、住民税及び事業税	260	270
法人税等調整額	30	165
法人税等合計	291	436
四半期純利益	773	1,070
非支配株主に帰属する四半期純利益	56	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	716	1,052

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	773	1,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	478	△69
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△177	21
退職給付に係る調整額	4	△1
その他の包括利益合計	306	△49
四半期包括利益	1,080	1,021
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,095	1,000
非支配株主に係る四半期包括利益	△15	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計 (注)
	化学品事業	食品事業	不動産活用業	
売上高				
外部顧客への売上高	9,833	2,299	122	12,256
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	9,833	2,299	122	12,256
セグメント利益	877	9	84	970

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計 (注)
	化学品事業	食品事業	不動産活用業	
売上高				
外部顧客への売上高	11,768	2,448	123	14,340
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	11,768	2,448	123	14,340
セグメント利益	1,241	64	79	1,386

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。